

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

Rotary

東京臨海ロータリークラブ



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンらしい親睦と奉仕」
"THE ROTARIAN'S
FRIENDSHIP AND SERVICES"
2017-2018年度
東京臨海ロータリークラブ会長
栗山 義広



国際ロータリーテーマ 2017年10月11日【第1073回】

「ロータリー:変化をもたらす」
"ROTARY:
MAKING A DIFFERENCE"
2017-2018年度
国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 栗 山 義 広
副 会 長 : 本 多 信 雄
幹 事 : 高 橋 映 治
会報委員長 : 飯 塚 憲 貴

10月11日の卓話

『パスト会長卓話』
パスト会長 中村群一様
パスト会長 田村浩康様

10月4日の出席率

会員在籍者数 34 名
会員出席者数 25 名
会員欠席者数 9 名
本日の出席率 75.76%
前々回訂正出席率 73.53%

10月25日の卓話

『アメリカメジャーリーグ面白話』
UVIG社長
株エス・プランナー取締役 (L.A. 在住)
合田秀雄様

《第1072回例会報告 2017年10月4日》

吉田雅俊ガバナー公式訪問

司会: 佐藤大輔 SAA 委員長

■点鐘: 栗山会長

■国歌斉唱「君が代」

: ソングリーダー 大西会員

■ロータリーソング斉唱

「奉仕の理想」「四つのテスト」

■「ロータリーの目的」東京臨海 RCVer. 唱和: 本多副会長

■来賓・ゲストスピーカー紹介: 栗山会長

ガバナー 吉田雅俊様

ガバナー補佐 山本和夫様

地区副幹事 今井 忠様

分区幹事 中山直幹様

分区副幹事 山本昌之様

地区大会実行委員長 佐藤文則様

地区大会副実行委員長 辻 明信様

■ビジター紹介: 入澤会員

篠塚慎之介様 (杉浦会員ゲスト)

■ご挨拶

・ガバナー補佐 山本和夫様

・今年度地区大会ホストクラブ東京四谷 RC

地区大会実行委員長 佐藤文則様、

地区大会副実行委員長 辻 明信様・・・地区大会のご案内

■10月のお祝い: 親睦委員長 杉浦委員長

・会員誕生日: 坂本康朋会員、杉浦孝浩会員

・奥様誕生日: 齊藤 実会員夫人、佐藤輝彦会員夫人

・結婚記念日: 小林健一郎会員、中村群一会員、

小松啓祐会員、佐久間栄一会員、

今井忠会員、齊藤実会員

・出席 100% 8 年: 佐藤大輔会員

・「誕生日の歌」:

ソングリーダー大西会員

・1分間スピーチ: 杉浦会員



■会長報告: 栗山会長

・吉田ガバナーをお迎えしてのクラブ協議会が無事終わりました事に感謝致します。

■幹事報告: 高橋幹事

・本日例会後、吉田ガバナーを囲んで記念写真を撮影します。
・ガバナー月信 10月号をメールボックスに配布しました。

■出席状況報告: 榎本会員

⇒詳細は1頁バナー下に掲載

■ニコニコ BOX 報告: 小松委員

(ご意向)本日は、吉田ガバナーと共に貴クラブのクラブ協議会に参加させて頂きます。前向きな協議会を期待しています。

: ガバナー補佐 山本和夫様・分区幹事 中山直幹様・分区副幹事 山本昌之様 (東京江戸川 RC)

(ご意向)今年度の地区大会は、来年の2月20日(火)~21日(水)の2日間、新宿の京王プラザホテルで開催されます。楽しく意義のある地区大会にします。皆様、ご家族そろってご参加下さいませようお願いします。: 地区大会実行委員長 佐藤文則様(東京四谷 RC)

(ご意向)吉田ガバナー、山本ガバナー補佐、今井地区副幹事、中山分区幹事、山本分区副幹事、本日はようこそおいで下さいました。吉田ガバナー、本日の卓話、宜しくお願い致します。: 栗山会長、本多副会長、高橋幹事、山田会員、佐藤正樹会員、須藤会員、齊藤会員、中村会員、入澤会員、勝間田会員、酒井会員、佐久間栄一会員、杉浦会員、笹本会員、小松会員、大西会員、田村会員、井上会員、今井会員、榎本会員、小林会員
(ご意向)妻の誕生日に花束を有難うございました。: 小松会員

【24件 70,000円 累計 768,500円】

例会変更のお知らせ

10月18日(水)は、東分区分親ゴルフ大会が開催されますので、当クラブ例会は特別休会です。

■卓話：(紹介者：栗山会長)
『ガバナー卓話』
国際ロータリー
第 2580 地区ガバナー

吉田雅俊様



今年度のイアン H.S. ライズリーRI 会長のテーマは『ROTARY: MAKING A DIFFERENCE (ロータリー：変化をもたらす)』です。

それぞれの様な方法で奉仕をすることを選んだとしても、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらす、その活動が、人数が多かろうと少なかりょうと、誰かの人生をより良くしていける。ライズリーRI 会長は、「このことにより充実感を得ることができ、この充実感、毎週、毎年『変化をもたらす』ロータリーの一員であるから湧き出てくるものである」と言っています。「ロータリーは何ですか」という問いに『ロータリー：変化をもたらす』というテーマで答えますとも言っています。

私の今年度のキーワードは、『感動と調和』です。そして行動指針は『研修と実践』です。

ロータリーが、その活動において、感動をとれない、そして社会と調和のとれたものであったからこそ、1905 年設立以来現在まで 112 年間にわたって、200 ヶ国を超えるまで普及してきたのだと思います。

しかし現在、社会貢献型 NP0 活動等が盛んになる一方、ロータリー先進国においては日本も含めて、ここ 10 数年会員数は減少の一途をたどっています。それはなぜでしょう？

奉仕するものとされるものが感動の絆で結ばれること、これがロータリーのサービスではないかと私は思います。そして、世の中と調和してこそ普遍的サービスと言えると思います。

ロータリー活動のあり方そのものも、ダイバーシティの時代を迎えた今、世の中の現状や価値観との調和が求められているのではないのでしょうか。

2017-18 年度は、この『感動と調和』をキーワードに、5 大奉仕、米山奨学委員会そしてロータリー財団の活動を行うよう推奨して行こうと考えております。

2016-17 年度から吉田建二地区研修リーダーのもと、研修を 3 年間の継続活動とすることを上山直前ガバナー・吉田雅俊・松坂ガバナーエレクトで合意致しました。

上山ガバナー年度は『親睦と研修』が重点項目でした。

2017-18 年度は『研修と実践』を行動指針とし、前年度から引き続き幅広い研修をペースに、実践検証を各クラブに推奨していこうと思います。

各クラブに於かれましては、選任された研修リーダーを中心に、地区や RI から提供される種々の情報やアドバイスを活かして、研修実践活動を進めて頂きたいと思っております。

また、当 2580 地区には 6 分区ありますが、ガバナー補佐に分区の取りまとめをお願いしますので、それぞれ分区の独自性を大いに発揮して頂きたいと考えております。

■点鐘・閉会：栗山会長



今週のメイクアップ(9/27～10/4)

今井忠会員(東京ベイ RC、2730 地区大会、東京上野 RC)
小林健一郎会員(REC Sunrise of Japan)
杉浦孝浩会員(ワールド大阪 REC)
・次年度ガバナー補佐・分区幹事顔合せ会(今井忠会員、斉藤実会員、笹本寛治会員)

20 年前 娘 2 人と参加したバギオ訪問

(1997 年 2 月 14 日～17 日)

当クラブ会員 中村群一

フィリピンの内容については新聞報道等で多少知っていましたが、実際に自分の眼で見た時には大変考えさせられました。夜 9 時すぎまでも我々に声をかけてくる物売りの子供達、マネーとせがむストリートチルドレン。火山灰が舞う中で乳飲み子を抱きながら手を差し出す女性達。トイレのない小学校(以前は屋根もなかったとか)。むしろをめぐらしただけの掘っ立て小屋。それらのすぐ近くにはファーストフードの店やゴルフ練習場もあり、貧しい人達に対して、決して埋まらない貧富の差を鮮明に印象付けていた。

私には娘が 3 人おりますが、高校 1 年の長女と小学校 6 年の次女を連れて行きました。日頃は、家が狭いの、古いのと、不平を言っていた娘たちも、旅行から帰ってひとこと「私達は何て贅沢なのだろう」と長女、次女も「日本に生まれて本当によかった」と呟いた。私にはこの家に生まれてよかったと親としては言ってもらいたかったが、「百聞は一見にしかず」世界にはその日の食事にも十分にとれない地域がまだまだたくさんあることを知って、大変勉強になった様です。

我々日本人は豊かになりすぎて、とっぴりとお湯につかっている事を自覚しているのだろうか。今回の旅行で私自身も身にしみて感じました。何も気付かなければ、このまま※「ユデガエル」になってもおかしくはない。昔、聞いた話で昭和基地の南極旅行隊の事を思い出しました。4 ヶ月にもわたる大旅行の最大の難関はプラトー基地にたどり着く迄の 2 週間で、標高 3 千メートル以上の稀薄な空気なうえ、上り坂、零下 60 度に近い寒さでブリザードに襲われる。鉄ソリは折れ、眠る間も休む間もなく悪戦苦闘の末ようやく基地に着く。それから天気が回復し、気温は上がり、下り坂でとても楽になった。環境が順調になるとまず食事に対する不満が起り、ちょっとした事で空気がトゲトゲしくなる。同じ人間がプラトー基地にたどりつく迄の悪戦苦闘の間には、食事に対する不満どころか、食べる間も惜しんで全員一致で死力を尽くした。不満は物理的環境が悪いときは起こらず、良くなるどころか。今の日本の様だ。

帰りの飛行機の中で新聞を見ると、2 ヶ月にもなるペルーの人質事件が報道されていた。ペルーの日本大使公邸の前で、人質の方々に運びこまれる食事をじっと見つめていたペルーの子供が、父親に「パパ、人質になる為にはどんな手続きをすればいいの?」と言ったとか。精神的に追いつめられた人質の方々に對して、無事解放を祈り続けている家族の心境を考えれば、不謹慎な話かも知れないが、素朴な疑問を發した子の姿は、事件が解決しても終わらないペルーの現実を強烈に皮肉っている。フィリピンの子供達も同様ではないでしょうか。今回の旅行を通じて色々な事に気が付かされました。それはロータリーに入ってからこそ体験できたことで、娘達も体調を悪くすることもなく、元気に楽しく行ってこれたのも、参加された皆様方の温かいご配慮に大変感謝しております。この時期 3 人分の出費はとても痛かったけれど、それ以上の価値がありました。来年は是非皆様方もお子さんと参加してはいかがでしょうか。

※「ユデガエル」・・・熱い湯の中にカエルを入れるとピョンと飛び出してしまうが、水の中にカエルを入れて徐々に熱していくと、熱くなるのに気がつかず茹でられて死んでしまう。

(会報 1997 年 2 月 28 日 第 120 回例会号より)

番外編：＜今日のメニュー(10 月 4 日)＞

小鉢 山クラゲ田舎煮
造り 戻り鰹 土佐造り
焼物 秋刀魚塩焼き
食事 白飯 豚汁 香の物
水菓子 本日のデザート



＜東武ホテルレバント東京和食調理長 長嶺常昭様＞